

01/23・デジタル通貨、中銀も備え加速 日欧など年内に報告書

「現金コスト」削減に利点 FRBは独自研究へ

- ・苦境の韓国経済、財政頼み 昨年2%成長、金融危機後最低 選挙にらみ歳出増
- ・19年貿易統計 輸出・輸入、3年ぶり減 米中対立が影響
- ・武漢、交通機関を停止 新型肺炎感染封じ込め 経済に新たな重荷

01/24・仏デジタル税、年内見送り 米と合意 米の報復関税も回避

01/25・プーチン氏、相次ぎ首脳会談 中東での仲介役視野

01/27・EU炭素税に米が報復示唆 環境問題、貿易に影響

01/28・新型肺炎、上海・蘇州で休業延長 産業集積地に打撃 世界の供給網に不安

- ・感染警戒、世界で株安 NY453ドル 日経平均一時200円超 < 1 >

01/29・OPEC、協調減産強化 ロシアと協議へ ブラジル参加も < 2 >

- ・米シェール開発鈍化 掘削装置2割減 投資家は化石燃料離れ < 3 >
- ・英、ファーウェイ一部容認 5G関連 完全排除せず、米「失望」
- ・パレスチナ国家の建設 米、条件付きで容認 新和平案 親イスラエル色強く
パレスチナ議長が拒否 中東諸国に懸念広がる 地域分断に拍車

01/30・米、政策金利据え置き FRB議長「新型肺炎の影響注視」

- ・欧州委「5G」勧告を公表 ファーウェイ完全排除せず

01/31・新NAFTA (USMCA)、米が署名 割れる評価 管理貿易の側面色濃く < 4 >

- ・米、投資・消費とも減速 10～12月、GDP2.1%増 < 5 >

02/01・英、EU離脱（31日） 首相「新時代の夜明け」 通商協議焦点に

移行期間入り（12月末まで） FTA逃せば流出加速も

- ・ユーロ圏減速 10～12月年率0.4%成長 仏伊ともマイナス
- ・ブラジル・リアル、最安値更新 南米通貨総崩れ 対中輸出の鈍化警戒

02/02・トランプ氏、無罪濃厚に 弾劾裁判、ボルトン氏招致せず 遠のく全容解明

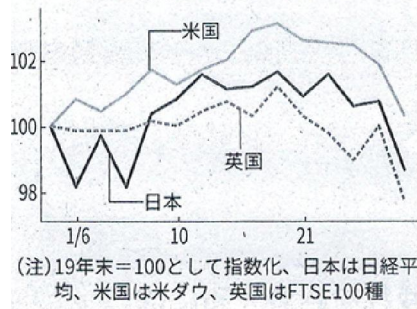
02/03・中国株一時9%安 春節明け、新型肺炎懸念 人民元18兆円供給 < 6 >

中国戦略都市機能不全 武漢、車・ハイテクの中核 世界貿易縮小リスク

マネー流出 債務問題、警戒再び

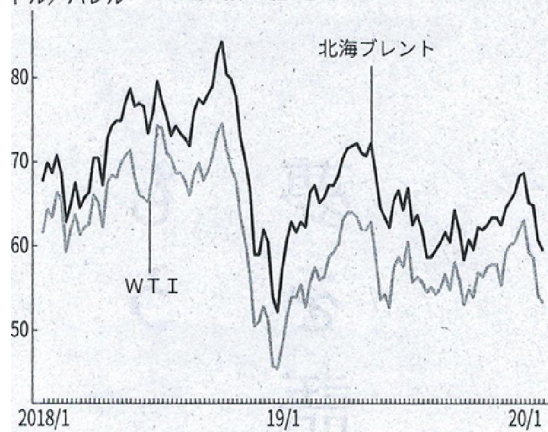
<1>

世界の株価が急落している



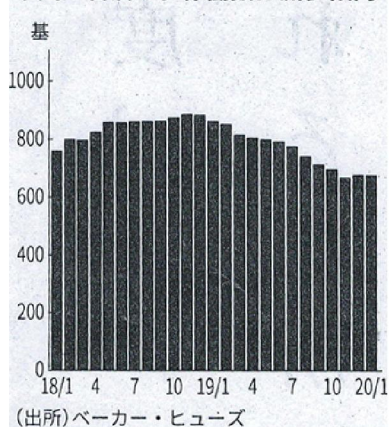
<2>

原油価格は低迷している



<3>

米国の石油リグ稼働数は減少傾向



<4>

USMCAには賛否の声

肯定的	否定的
米自動車産業に雇用創出、経済成長率を底上げ（トランプ政権）	原産地規則が厳しすぎてコスト上昇（日本の自動車メーカー）
為替条項の導入などで対米投資しやすく（米自動車政策評議会）	自動車価格の値上がりで消費者に影響、販売減も（ITC）
デジタル貿易や知財保護など現代に沿う（全米商工会議所）	保護主義的で経済成長を抑制（米ピーターソン国際経済研究所）

<5>

10～12月期の米GDP速報値

（金額は季節調整済み、年率。2012年基準価格。増減率は前期比年率。▲はマイナス）

	金額 (億ドル)	増減率 (%)
国内総生産	192,198	2.1
個人消費支出	134,119	1.8
民間設備投資	27,324	▲1.5
民間住宅投資	6,021	5.8
民間在庫投資	65	—
純輸出	▲9,020	—
輸出	25,324	1.4
輸入	34,344	▲8.7
政府支出	33,324	2.7
GDPデフレーター	—	1.5

(出所) 米商務省

<6>

上海総合指数

